

第103回一般質問一覧表

6.9.24

順位	氏 名	大 項 目	小 項 目 (要 旨)	答 弁
1	村岡栄紀	家族が住まなくなった実家をまちづくりにかす	<p>(1)空き家全体のうち「賃貸用の住宅」や「売却用の住宅」以外の「その他の住宅（誰も住まなくなった実家）」の件数とそのうち所有者や相続者が遠方にある割合をどのくらい把握しているのか。</p> <p>(2)所有者や相続者が、空き家に対して対策等を行わずに、そのまま放置している理由等をどの程度把握しているのか、把握していない場合は、アンケート等で調査すべきだと考えるが。</p> <p>(3)本市における「空き家予備軍」と呼ばれる、現在は空き家ではないが、近い将来空き家になる可能性が高い高齢者のみが居住している世帯等はどのくらいあるのか。</p> <p>(4)立地適正化計画における居住誘導区域内の空き家の件数は。</p> <p>(5)空き家バンク制度ができてから、担当部署が転々としているが、その経緯と理由を。建設水道部都市住宅課（移住定住・空き家対策推進室）で落ち着くのか。</p> <p>(6)移住支援事業 684万円のうち空き家バンクに係る費用とその内容は。</p> <p>(7)空き家バンクは行政主導のマッチングシステムであるが、行政は単に情報を提供するだけで、その後のプロセスには関わらないことが多いと聞くが、本市の現状は。</p> <p>(8)空き家バンクの利用は、一般的な不動産会社に依頼したけれども、取り扱いを断られた場合や、買い手や借り手が見つからなかった場合等、最後の手段としての活用をされることが多いのではないかと。</p>	部 長

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
			(9)「空き家」を「借りる」という立場に立つと、リフォームされていない昭和の戸建てでも、家賃が安ければ借り手がいるのではないかと。また、古着好き世代などは、むしろ積極的に古い家を選び、愛着を持ち住むようになる可能性があるのではないかと。	部長
			(10)「空き家」を「貸す」という立場に立つと、撤去・売却するというのは、先祖代々の建物や、自分が生まれ育った子どもの頃の思い出とも決別しなければならないため、大きな決断が必要となる。しかし、空き家を「まずは貸す」からスタートし、次の展開を考えるという発想に転換すれば、敷居が低くなり動きやすくなるのではないかと。	
			(11)アパートや賃貸マンションといった集合住宅にある程度長く住んでいる人の中には、例えば子どもが生まれる、ペットを飼おうとするタイミング等で、戸建ての賃貸物件があれば移りたいというニーズが生まれると考えるが。	
			(12)空き家のマッチングのカギはリアルなストーリーであり、プライベートのストーリーの方が、間取り図のようなスペック情報よりも効果的であると考えるが。	
			(13)「空き家再生」とは、できるだけお金のかからない方法で、誰も住まなくなった実家を先送りすることなく、再び住まいとして地域に役に立つようにすることが大切である。そして、これまで思いもしなかった発想の転換で取り組むことにより、空き家は決して「負債」ではなく、「財産」になる可能性も秘めているのではないかと考えるが。	市長

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
			(14)少なくとも立地適正化計画における居住誘導区域内の空き家、空地の活用を推進すること、そして、この取組（土地利用含む）に対して市から応援をすることが、最も効果的であると考えているが。	市長
2	東野敏弘	異常気象による災害から市民を守るきめ細かな施策を	<p>(1)今年の夏の高温対策を問う。 ○屋外での熱中症対策として、北播磨管内の市町で、クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）の指定が進んでいる。西脇市には3か所あるが、市内8地区には最低1か所は必要ではないか。</p> <p>(2)異常気象による集中豪雨に対する河川改修、急傾斜地整備の現状を問う。 ○平成16年の台風23号襲来による大水害を受け、加古川・杉原川の計画的な河川改修が進められている。今後の整備計画とともに、土砂崩れの危険性がある急傾斜地等の整備計画を聞く。</p> <p>(3)市民が安心して避難できる避難所整備について問う。 ○予期せぬ災害が発生した際、市民が安心して避難できる避難所が必要である。そのため、平時において避難所整備（計画）を行っておく必要がある。現在の指定避難所は、何人分の避難を計画しているのか。指定避難所は現状で足りていると考えているのか。指定避難所の暑さ対策はどうなっているのか。小中学校の体育館にエアコンを設置する必要があるのではないか。</p> <p>(4)要援護者に対する避難支援について ○市内在住の要援護者や地域の要支援者に対する対応を、事前にきめ細かく取り決めておくことが必要である。福祉避難所の整備、地域で個別な避難援助が必要な方に対する取組について問う。併せて、自主防災会における地域に住む要支援者への避難支援を聞く。</p>	<p>部長</p> <p>市長 教育長 部長</p> <p>部長</p>

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
			<p>(5)異常気象による災害から市民を守るためのきめ細かな施策について、市長の考えを問う。</p> <p>○現在、異常気象による予期せぬ災害が多発している。災害から市民を守ることは市行政の最大の責務である。市長の考えを問う。</p>	市長
3	藤原桂造	西脇市の教育環境の改善に向けて	<p>(1)他市町との進捗比較について</p> <p>○西脇市における学校統合プロセスは、近隣他市町に比べて遅れているとの印象がある。この点について、行政としてどのように認識しているのか、また、進捗の遅れについてどのような対策を講じているのか。</p> <p>(2)懇談会の成果について</p> <p>○学校統合に関する検討会議を約2年間行い、その後7回の懇談会が実施されたとのことだが、判断基準の不明瞭さや対話不足の指摘がある中で、懇談会の成果としてどのような進展が見られるのか。</p> <p>(3)方針決定のタイムラインについて</p> <p>○今年度10月に方針決定が予定されているとのことだが、方針決定の具体的な内容と、その後のスケジュールは。</p> <p>(4)判断基準の明確化について</p> <p>○学校統合に関する判断材料として、こういった項目を重要視されようとしているのか。</p> <p>(5)学校統合シナリオと「多極集中」の考え方について</p> <p>○将来を見据えた学校統合の考え方として、「多極分散」ではなく「多極集中」を目指すべきではないかと考えるが。</p>	教育長

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
4	森脇久夫	第2期農業ビジョンと農業人材育成等について	(1)第1期農業ビジョン期間の西脇市農業の推移 ○第1期農業ビジョン期間の西脇市農業の推移を聞く。	部長
			(2)指標の達成状況を踏まえた成果と課題 ○指標の達成状況を踏まえた成果と課題を聞く。	
			(3)第2期農業ビジョンの特徴 ○第1期の課題を踏まえての第2期の特徴を聞く。	
			(4)農業ビジョンにおける人材育成 ○第2期農業ビジョンにおいて人材育成をどのように位置付けたのかを聞く。	
			(5)農業法人等による農業経営 ○農業従事者は、これまで個人が中心となっていたが、農業を持続させるための施策として農業組織についての考え（農業法人等による運営や人材育成）を聞く。	
			(6)農業人材育成に向けて市長の考え ○第2期農業ビジョンで「育てる」が追加された。人材育成について、市長の考えを聞く。	市長
5	杉本佳隆	IT技術を活用したスマート農業の推進	(1)IT技術を活用した自動給水栓の導入	部長
			(2)センチピートグラスによる畦畔草刈りの抑制	
			(3)有害鳥獣駆除対策にIT技術の導入	
			(4)認定農業者の増加の取組	市長
			(5)水の管理、草刈り、有害鳥獣駆除対策にIT技術を活用したスマート農業の構築	部長
6	岸本年裕	バス公共交通の充実に向けた取組について	(1)パークアンドライドについて ○バスの乗車人数の多い野村バス停とアピカのバス停を利用する通勤、通学者向けの駐車場に関して	部長
			(2)早朝及び夜間帯の乗換便の充実と西脇営業所（市役所前）～社車庫前区間のダイヤ復活について ○神姫バスの路線改正によって、神姫バスの西脇営業所は廃止となった。	

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
			(3)バス交通の利用促進とその影響について ○公共交通の不便さは、市外移住や人口減少など、地域経済にも影響を及ぼすと考える。	市長
7	藤原秀樹	水害時の自動車の避難場所について	(1)冠水した道を走行する場合について ○集中豪雨や台風などの際、自動車等への注意喚起が必要と思うがどうか。	部長
			(2)平成16年台風23号の被害について ○市内でどのくらい自動車等の被害があったのか。	
			(3)自動車等の避難場所について ○協定等によって立体駐車場や屋上、高台などへの自動車の避難場所が必要と思うが、市長の考えを問う。	市長
		若者や子育て世代の魅力ある西脇市について	(1)国道175号バイパスについて ○バイパス沿いの開発や沿道サービスを行うため、農地転用はできないのか。	部長
			(2)旧庁舎等跡地利用について ○総合ディスカウントストアを誘致してはどうか。	
			(3)若者や子育て世代に魅力あるまちについて ○今までの誘致等について、市長の考えを問う。	市長
8	坂部武美	西脇市役所の障害者雇用について	(1)西脇市役所の障害者雇用率は。	市長
			(2)西脇市障害者活躍推進プランに基づき、どのように取り組んでいるのか。	
			(3)障害者の今後の採用について	
		緑の基本計画について	(1)総合市民センター北側緑地の樹木伐採を見て、緑地の保全や緑化の推進についての見解について	市長
(2)「西脇市緑の基本計画」を策定すべきである。				
9	高瀬弘行	高齢者や障害がある方などのごみ出し支援策について	(1)昨年6月議会の私の一般質問では「今後の検討課題」との認識を示されたが、その後の進捗状況は。 ○施策としての位置付け、支援方法などの検討状況を問う。	市長
			(2)市として把握している日々のごみ出しが困難な世帯数とその世帯に対する現状の対応は。 ○現状認識を問う。	部長

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
			(3)上記議論を踏まえた上で、高齢者や障害がある方などで、日々のごみ出しが困難な世帯に対する支援策の必要性、支援策の実施時期などについての市長の見解を問う。	市長
10	村井正信	不登校状態にある児童生徒への支援の充実に向けて	<p>(1)現状と取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和5年度不登校児童生徒は令和4年度と比較して大きく増加している。その原因についてどのように考えているのか。 ○「はればれ教室」在籍者は19人である。残りの91人はどのような状況にあるのか。 ○令和5年度における相談件数と、特徴的な相談内容、そしてどのように対応したのか。 ○不登校の子供を持つ親に対しての支援内容 ○COCOLOプランにある「チーム学校」の西脇市における状況について <p>(2)はればれ教室の現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育に関する事務の点検及び評価の報告では、「はればれ教室」在籍者だけが評価の対象になっているが、本来不登校児童生徒全員の対策が主でなければならない。在籍者以外の対応はどうしているのか。 ○「適応指導教室」の名称を変更すべき。 <p>(3)不登校児童生徒の居場所について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○9月議会で、不登校対策事業として補正予算が提出されたが、具体的にはどのような内容か。 ○上記は県委託金であるが、今後、県財源の有無に関わらず学校内での居場所を継続的に実施する考えか。 ○校内フリースクールの設置に向けた考えについて ○設置の考えがあるとして、担任と補助者が必要になってくるがどこまで考えているのか。 	教育長

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
			<p>(4)民間フリースクールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○民間フリースクールを利用している児童生徒数は把握しているか。 ○不登校対策として民間フリースクールへの道も選択肢として必要である。教育委員会として、民間フリースクールについての見解を聞く。 ○必要となれば、「不登校児童生徒を支援する民間施設に関するガイドライン」や「不登校状態にある児童生徒の指導要録上の出欠扱い等に関する要綱」も必要となる。教育委員会の考えを聞く。 ○民間フリースクールの選択も可能として、利用情報を対象になる人に提供することを求める。また、フリースクール利用児童生徒支援補助金の検討も必要と考えるが、教育委員会の考えを聞く。 <p>(5)教育委員会の不登校対策の施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育機会確保法によると（地方公共団体の責務）として、第5条に「地方公共団体は、当該地域の状況に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。」とある。西脇市教育委員会として、不登校対策の施策はあるのか。 	教育長
11	林 晴信	ハラスメントに対する取組強化	<p>(1)現在、西脇市役所内においてハラスメント防止に向けた取組がどのように行われているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和5年12月27日、総行女第32号「地方公共団体における各種ハラスメント対策への対応について」及び令和6年6月21日総行女第15号「地方公共団体における各種ハラスメント対策の徹底について」を踏まえて。過去の答弁も含めて問う。 	部長

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
			<p>(2)令和2年12月17日定例会一般質問での、市長答弁と結果の齟齬について</p> <p>○村井議員の質問に対し「具体的な取組につきましては、国から示されております指針やガイドラインに沿って、適切な措置を講じてまいります。」とのことだったが、令和5年6月1日の調査結果では、「必要な措置が講じられていない自治体」に該当しているように見えるが、それはなぜか。前年の令和4年6月1日調査結果からと変わっていない。市長の意思が通じない最大の原因は何と考えているか。</p>	市長
			<p>(3)ハラスメントの実態把握は本当にできているのか。</p> <p>○現在、市役所内でハラスメントに関する具体的な実態調査が行われているかどうか。また、ハラスメントの発生率やその内容についてのデータは存在しているか。令和2年の一般質問ではアンケートは実施しないという答弁。令和4年の一般質問で教育委員会管内における前年度の事案と処理は明らかになっていたが。</p>	部長
			<p>(4)実態把握と課題把握のため全職員に対する匿名アンケートを実施すべきである。</p> <p>○実態把握と課題把握のためのアンケート実施と実施後には、外部の専門家によるコンサルティングを受けるなど、客観的な視点を取り入れ、対策を講じていく必要があるのではないか。</p>	市長
12	浅田康子	「日本のへそ」で地域の活性化を	<p>(1)「日本のへそ」は西脇市の地理的特性であり、大切な地域資源である。</p> <p>○「日本のへそ」をどのように位置付けし、どのように生かしていくのか。</p>	部長

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
			(2)子午線文化研究家、吉野健一さんの「へその日」制定の提言について ○昨年の講演会で「へその日」を制定して、日本のへそを更にアピールしてはとの提案をどのように受け止めているのか。	部長
			(3)「日本のへそ」を地域資源としてどのように活用していくのか。	市長